

## 平成29年11月定例会 議事録

- ・日 時：平成29年11月2日（木）19：00 ～ 20：30
- ・場 所：石川県 NPO 活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田  
（計6名）
- ・欠席：なし
- ・進行・記録：大竹

### 《議題》

1. 金沢市交通まちづくり市民フォーラム（10月14日（土））の報告
2. 金沢市都心軸交通環境整備検討委員会の状況について
3. 関係団体との交流について
4. 新しい交通システムを巡る動向
5. その他

### 《内容》

議題1 金沢市交通まちづくり市民フォーラム（10月14日（土））の報告  
参加者、吉田（パネリスト）、黍野、木村、蓮井

- ・市民フォーラムと言いつつ開催趣旨、目的がはっきりしていなかった。
- ・毎年恒例の市民を対象とした行事ではないのか。予算消化の意味もあろう。
- ・山野市長の挨拶は、高山コーディネーターに取りまとめをよろしく、と述べていたが、本来は基調講演の講師である加藤教授に謝辞を伝えるべき。
- ・名古屋大学加藤教授の基調講演について、内容は過疎地域の路線バスの維持の話が大半だった。全国の事例を紹介していた。公共交通の維持には住民の協力が不可欠とのこと。金沢では二俣地区あたりの状況が該当するだろう。
- ・市民向けだが、行政の都合で講師やパネリストを選んでいる感じがした。団体の代表者の代表者を選んでいたら、公共交通に関心があるとはとても見えない方々ばかりだった。
- ・パネリスト達の発言は、ある意味自分に正直なものだったが、このフォーラム開催の意味や目的を理解しているとは思えないものが多かった。
- ・吉田氏からは、パネルディスカッションで公共交通利用促進の提案をしたつもりだったが、コーディネーターからも他のパネリストからも何も反応がなかった。
- ・自分がしゃべらない時のパネリストには居眠りしている者もいた。
- ・コーディネーターの最後の取りまとめも、よく分からない意味不明ものになっていた。

- ・参加者は、大部分がいつもの顔ぶれ（当会メンバーを含めて）で、動員やサクラが目立った。
- ・質疑コーナーでは、いつもクレーマーがいつもの路面電車に対する文句を言っていた。コーディネーターが「今のLRTは昔の路面電種と違う…」旨、説明していたが、貴重な時間の浪費と感じた。
- ・最後は、「行政、交通事業者、市民が一体となって公共交通を支援していこう…」いつものお題目で締めくくった。

議題2 金沢市都心軸交通環境整備検討委員会の状況について  
特に進展なし。

議題3 関係団体との意見交換会について  
・婦人関係団体との意見交換会を検討してみる。

議題4 新しい交通システムを巡る動向

衆議院選について、石川一区では、新交通システム導入を公約に盛り込んだ候補者が勝利した。国づくり編と地域づくり編に分かれており、具体的な政策が有権者の心に届いたのではないか。交通関係の公約には「石川線の新交通乗り入れ」というものもあった。

対立候補は、「教育…、子育て…」など、中央の公約の焼き直しばかりで、地域のオリジナル政策はなく、独自性や現実性が乏しかったのではないか。

議題5 その他

金沢LRTの会が12月2日（土）15時～近江町プラザにてフォーラムを開催する。

次回予定 … 定例会 29年12月7日（木）、19:00～「あいむ」にて